

【1班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
高齢者が住みやすい地域づくり、移動制約者の交通の便が良い
子どもたちがいつも元気なまち 子どもたちによい思い出を残したい。 農業、地元でとれたものをおいしく食べたい。
のどかなまち 懐かしい記憶のつまったまち 子どもさんが誇りに思えるまち いつか帰ってきてみたいくなるまち
日常生活が便利なまち 特に高齢化が進んでいる地域では食・住が安心できるまち
元気なまち
財政と心の豊かな街
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
桜の手入れ。(行政の経費削減)
新城市内を見て歩く いろいろな人と話す。 自分のやりたいことを見つけ仲間をつくる。
昔から住んでいるところだから ・地域住民とのふれあい～あいさつ等 ・地域住民の中心となり?(現在区長) いろいろな面で活動安全なまちづくり ・大勢の人が参加できること。 イベント等ふれあい
友達や知り合いをたくさん作りいろいろな情報を共有したい。 コミュニティ組織などの団体で地域や人のためになるボランティア活動をして地域のつながりを作りたいと思う。
していること→通勤途中のゴミ拾い。 できること→行事等に参加する。 やりたいこと→情報発信
ゴミを減らす運動 環境あいうえお →市民大会の開催 短歌の指導 市民大会 文化協会、JA
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
キーワード 事業戦略
物事の優先順位を決め自分(市民)にとって何が必要か話し合う。
市民個々の力を集めるための戦略 (行政と市民の思いがひとつになるための)
思いやり 人間関係が良くなればおのずと住みたくなる街になると思う。
新城駅から電車バスがとどこおりなくするようにエスカレーターエレベーターをつけると良い。 元気である以上感謝奉仕の心、信念の心を育てるよう心がける。

【2班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう？
安心・安全、心身ともに豊かになれるまち 農業、田んぼ、畑で自立できるまち
お金がある町
笑顔いっぱいのもち
衣(医)、食、住が(最低限)整えられる(整った)まち
「こんにちは」と「さようなら」をコダワリなくかわせるまちが良いと思います。 (もちろん、口から発することができないときがあることも含みおいて)
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう？
人との交流→環境活動→季刊誌の発行
友に話し合える場所へ チャレンジ精神
自分ができること 活動などに参加する。
必要なとき外出することが保障されるようにしたい(交通の充実)。 近くに暮らす人たちがお互い様で助け合えるようにしたい。
地元の方とのコミュニケーションを大事にしている。(各行事の参加) スポーツを通じて地元へ貢献
小さなヘルプをしていきたい。 一度に多くの笑顔も良いけど、一人の笑顔

大きい街はまとまらない、小さな街だからまとまりが良い。 情報をうまく分かりやすく出す。(←人との交流) 女性が参加しやすい場所づくり 移送。
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう？
「教育」のあり方に気を配って、今、教育の受けては子どもです。 当事者である「子ども」に教育の力を！
未来に向かって元気を出して、何事にも挑戦しよう。
市民大会(意見発表会) 誰でも楽しめるイベント 誰もが行きたくなる場所の整備(ex)桜淵とか？
市民がお互いに助け合う気持ち。 世代の垣根をなくして交流の輪を広げる。
地域の自然、史跡、伝統芸能などを広くPRし、他の人に来てもらう。これらを守り続けるために地域の若者を大事にする部落を作る 企業の誘致に力を注ぐ(企業の農業参入など) 山間へき地の老人、障害者の足を確保する(例えば、鳳来の四岳館やのんはい鳳来(NPO)のボランティアに頼るのでなく行政としても援助の手をさしのべるべき)。 市長のマニフェストに福祉に力を入れることを入れてほしい。

【3班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたい”しんしろ”って、どんなまちだろう?
豊かな自然環境 心の通う地域社会 最低限の医療・介護・施設
①医療の心配が無いまち ②きれいな町 ③人間関係の良いまち ④仕事があるまち
主人の転勤で新城に来て以来40年以上、でもやっぱり外から来た人扱い！このまちの古さ(歴史)と自然環境は何ものにも勝るけれど……。誰でも気軽に受け入れてくれる。文化度の高いまちになればいいと思います。
近所付き合いのできる町 いつも楽しくお付き合いのできる町
住んでいる人がちょっとおせっかいなまち
人間って無いものねだりをする。 作手から見ると新城は淡白(引いてしまう) みんなと同じが良い。目立つとまずい。 他者扱い⇔従来の文化(しきたり)を新入者が壊そうとすることがある。→どうする？お互いの理解(何で来た。どこから来た。)
第2話: 住み続けたい”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
①できるだけ広く多くの人とのかかわりを持つ ②相手の立場、考え方を理解するよう努力する。 ③あいさつをする。
例) 今おこなわれている”地域担当制度””まちづくり事業”他 地域の人が同じ課題として取り組む
環境関係の市民団体に加入 子どもたちにこの地域の良さ、変わり具合(環境面)を伝えたい。
仕事との両立は大変ですが地域の活動には率先して参加している。 集落の祭典の内容を変えてみたい。(長男、長女等子供を呼び寄せる祭りにしたい)
できる限り集落などに出る。 地元の人たちとの交流の機会を増やし、顔を覚えてもらう。 新城が一つになれるようなイベント?
人との関わりを大切にする!
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
地域力・集まり(区、組)をお互いに尊重し、育て合うこと(自治権?)→そういう市の仕組みを作る事。 地域の集まりに予算と責任を与え自治を深める事
なかよくしよう。話をしよう。あいさつをしよう。
自然環境をしっかり守り豊かな暮らしができるまちにしたい。 情報発信!!
話合いの結果や提案を広く市民に伝えるための情報手段にアイデアを出すことが必要だと思います(関心を持たせるため)
三要素 医療(安心して医療にかかれる)子供を育てるに当たっては大きい課題 職場(近くで働ける) 住居(住みよい環境)
----- 地域力をつける! お互いがいろいろと関わる。

【4班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう？
<p>地元に帰ってきたいくなる町 他の市より、子供手当や住宅など生活的に優遇される。</p> <p>子どもから高齢者まで健康で不安なく暮らせるまち 例) 公共交通機関で病院で通える。 地産地消でおいしいものがいつでも食べられるといい。</p> <p>病院の完備した町 救急車OK 患者OK</p> <p>安心安全なまち お隣さんと顔の見える関係(昔でいう両隣3軒)</p> <p>困った時に助け合えるようなまち 自分の思いを素直に語り合えるまち 自然の豊かさを感じながら暮らせるまち 弱い立場の方々の笑顔がみられるまち</p>
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう？
<p>実はこれがわからないんです！！</p> <p>朝出会った子供には必ず「オヤヨウ」と声をかけている。時間があれば少し話をする。 郷土の祭りに関心があるので、少し関わっている。 人生楽しく楽しく</p> <p>みんな顔見知りの街 (子供が近所のおばあちゃんの名前が言える。その反対も) 『音楽』がある街！</p>
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう？
<p>意見を言いやすい場が作られている所に出向いて意見をすい上げていけるといい。</p> <p>課題を出し合い、解決に向けて話し合えるシステムづくり、また解決に向けて連携できるネットワークづくりが大切である。</p> <p>イメージ(何となく)ではなく本当に困っていることだけ解決すべき。</p> <p>地域担当制をもっとうまく利用して情報の吸い上げ発表をする。→若い世代ももっと利用する。 色んな世代の声を吸い上げる仕組み。</p>

【5班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう？
水に恵まれたまち豊川流域
自然にあふれ人々がやさしいまち
安全なまち犯罪、交通事故のない安全なまち 地域住民が一つになってきまりや約束を守る地域づくり みんなが参加できる。
お互いを認め合うことができるまち
自然と心が豊かなまち
安心して子どもを生み育てられるまち
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう？
隣近所との付き合いはできる限り参加している。 仕事があひとくぎりついたら、家の畑を少しでも手入れしていきたい。
特にありません。 自分ではどうしようもない交通、買い物、学校等の問題が多いため やりたいことは上記の問題解決です。
イベント又はお祭りなどの行事 出合いの会をしたい。
地区の子どもたちに歌舞伎を教えています。 地域で子育てをしたい。
人との関わりを大切にしている。 子どもも人と関わられるように育てたい。
地区の行事や奉仕作業への参加 あいさつはみんなに(特に子どもに) 市内のこと、なんでも協力できることは協力したい。
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう？
行事・イベントへの積極的参加 社会基盤のさらなる強化 情報化の推進
地域コミュニティ活動の推進 地場産業の活性化 地域の再発見(文化、自然、歴史、人)
地域でのつながり 様々な情報の共有
自然や心のふれあいをネタにした参加のできる活動
まず生活の安定 参加の仕組 評価の仕組 課題共有 無理のない仕組 地域資源(人、もの、発見)

【6班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
公共交通機関が整備されているまち(医療機関も整備され)
治安がよいまち 働きやすい職場があるまち(農も自営も含めて)
古くても、ホッとできる(安心できる)街 音楽がきこえる街(音を楽しめる街)
安全、安心、人口の増加が見込まれる工業、商業、農林業、観光、サービスのバランスの取れた市
子供が安全に遊べる場所がある(公園や広場)
行事が多いがその分人と人とのきずなを大切にしているおもいやりのあるまちです。 お祭り行事はどの地域でもおこなっているが恒例化しているところを一度見直していくことが必要かも
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
自分の役割(仕事、地域生活の中でやれること、やらなければならないこと)を精一杯やること。
新城駅をエスカレーター、エレベーターをつけてもらいたい、2階に改札口をつくるとよい。
伝統ある市民芸能の保存を大切にしたい。
子供たちにも新城に住んでもらいたいと少なからず思っているため、ここ(新城)でしっかりと父親をしているつもり。 これからはしっかり「父親」していきたい。 今日は舟着小学校のPTA役員やっています。 いろいろな行事に参加しています。これからも参加していきたい。 子どもと一緒に楽しくいろいろな行事に参加
行政区の行事に参加 市、その他(お祭り)の行事に参加
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
人を引き付ける「力」「魅力」 働くこと。→実践
自律した市民の育成と自立できる地域の仕組みの構築
ひとりひとりが自分にできることを確実にやる。
職員、市民がそれぞれの立場で主体的にまちづくりに取り組むリーダー育成
行政区のリーダーの研修が必要である。

【7班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
若い人が元気に生きていける街 都会人が自然を求めて何回も訪れる街
安心安全なまち 地域格差が無く地域の突出したものを他の地域にアピールできるような人たちが集まったまち
農業、工業、商業等バランスのとれたまち 住人が元気になるまち? (安全・安心)
体力作りが出来る所がほしいです。 交通のことも考えてほしいです。
安心に助け合ってほめるまち
老人も子供も安心して住める町 緑豊かな清流流れる心のふるさとであり続ける町 作手・鳳来・新城の歴史、文化など独自性を生かした持続可能な町 地域産業(農業、林業、商業、工業)の地域循環
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
隣近所に大きな声であいさつをしている。 お隣さんがいざというときに助け合うはじめの一步と思う。
子どもたちに地域の歴史を教えたり、地元の山登りなどをしていきたい。
散歩を積極的に行っている(昼休み、帰宅時) 新城のよい所を口コミにより紹介する。
若い人たちに戻ってきたくなるしんしろになって欲しい。 自然環境の良さ、歴史のある街の意味を感じられる教育(学びの場)をつくれればと思います。
地域活動にできるだけ参加していく 隣同士(近所)での声かけ(あいさつ)
コミュニティ活動の実践
酒が飲めなくなってコミュニティの集まりがしにくくなった。 消防団もコミュニティの原点
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
『みんなで』『楽しく』? やってる人(事)を悪く言わない。 むずかしいですね。
地域のことを知ること(関心を持つ) ↓ 地域活動
気付きを生む仕組み→子ども、大人→人から人へ(メッセージを伝える)年配者、地域を知る人→魅力ある街
行政、民間グループ、議会等立場を異にする人が「実はさあ」と「悩み」を共有していけること 他人事としないで自分達のこととして考えていけるようになること
ひとりひとりが思ったり、考えたりしていることを話す機会が多いほど良いと思います。 飲酒運転の取締りの厳しくなったことがコミュニケーションの場を少なくしているように感じますが・・・

【8班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう？
ふだんの生活が安心してできるまち (子どもが少なくても、お年寄りが多くてもいいじゃないですか！) 買い物、通院の足確保！！
歓楽街のある華やかなまち
各年代の人が住み続けられる所 ”安心”して住める所 ”魅力ある町”
公共交通網等の充実し周辺都市へのアクセスが良いまち
古い考えをなくし新しいことを取り入れるリーダーの考え方により動かされるから新しいことを取り入れる人が必要
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう？
地域の人たちが集まって地域復興を考える 地域づくり会議(座談会)
市内の歓楽街がなくならないように協力している。 地区での行事には極力参加している(コミュニティー、祭、消防)。 (地域住民との交流・情報)
区の役が回ってきたときは積極的に受けている。 ↓ 地区の人たちとのコミュニケーションを図る。
地元祭礼への参加(子どもの余興関係) 体育振興会に所属し、住民交流の促進 おやじの会に所属し、学校、子ども、地域との交流 すねえもんマラソン(岡崎城→長篠城)へ参加 第2回駅横で行われる「フォークなひととき」出演
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう？
このような会を使って市民の声を聞く
このようなイベントを積極的に開催する！
話の出来る歓楽街を活性化する 地区にカフェを作ろう
消防団等への強制参加制度 まずは若者から
地区住民のコミュニティ活性化 相互扶助

【9班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
働ける場所があるまち 安全なまち 人とのつながりがあるまち 買い物が便利なまち 病院があるまち
別に無し
住民個人・地区(行政区)がいきいきしている地域 (まちという言葉は限定的な感じがするので)
弱者にやさしい町(安心安全な)
静かなまち 水がきれいなまち 災害の心配がないまち お金 経済
気やすく住める←個人個人によって考えが違う ある程度のお金は必要ー地域、個人
隣近所で助け合える気持ちをみんな持っている。 声をかけ合える気安さがある。
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
地区の店を利用する(薬局、電気屋、食堂)。 皆が参加できるイベントを考えている(体振)。 地区行事参加
自分でできるまちのためになることを探して無理のない範囲でやりたい。
第1話で安全安心と書きましたが小学生の登校の付き添い 子どもと自然の中で遊ぶ→子どもにもしんしろの良さを伝えたい。
きれいな水を流す。 排水に気を配る。 近所付き合い(あいさつ)、顔を合わせて話す。
お隣さんとの交流 地域コミュニティー
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
森林資源の保存・育成(労働力の確保、技術の養成)
住んでいるみんながまちのことに興味を持つ、好きになる。 良い提案・要望などの声を気軽に出せる場を作る。
いろいろな行事等に積極的に参加する。 自己啓発
静かな町にしたい。 音が大きすぎるので少しでも減らしていきたい。
地域を大切に(買い物、行事、病院)。
自然豊かで歴史のある新城に若者が住み続けたいと思う条件整備 働く場所、子育て、安心安全のまちづくり

【10班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
自然を生かした生活ができるまち 地域の資源が循環するまち
当たり前ですが安全安心な町
友人が多くいて朝夕あいさつができるまち、ホールができる町
病気になっても、入院出来る市民病院に先生の配置(国指導による)を制度して構築
自然が美しい 交通の便がよい(特に年老いたとき困らない) 人とのつながりがあったかい(老若男女助け合える) 文化的な催し物の充実
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
経済的に自立出来る様に働く場を設ける。 農業、米の生産、畑、野菜作り
まちおこしをしている。 人の心を変えることが難しいので周りの景観を変えている。 市民病院を残すため署名活動をしている。
自然と史跡を生かした観光地をPRし、バス会社等と連携し他所の人に来てもらう。 ごみ0運動など積極的に進める(老人クラブのボランティア)。 「あいさつ運動」を実施し、子どもの登校時にしっかり住民があいさつをする。 企業誘致に力を入れる(農業方面にも入ってもらう)。 「世界の桜の園」のような地元の人力で環境を良くする(八名地区)。
今一人暮らしでお困りの方へ豆腐、油揚げおそうざいなどをお届けしています。
最も自然な重要な最小の自治組織と個人との関係を密接にし、誇りを持てる地域づくり相互扶助、相互尊重を育成していく。 若者を地域が育てる文化づくりをやっていきたい。
有機無農薬農業、環境にやさしい生活
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
1東海・東南海地震への具体的対策 2観光強化、新城の歴史、名所、名物など全般をめぐらしたマップ作りと周知。 3新城の特産物の開発と農家への支援、米、低農野菜
人力
観光を活用したまちづくりとして農業を組み合わせた観光農業も進めていくべきでは(新東名の入り口に出来る道の駅をにらんで) 田舎暮らしに付きものはお役とか付き合いの多さです。しかしこれが地域で安心して暮らせるまちづくりの礎となる。皆さんが参加できるシステムが必要
情報、知識の共有 ↓ 一体化へ 市内他の地域のことを知る。 自慢できることを増やす。
鳳来寺、湯谷温泉、道のえき 観光案内、活力あるまちに 新城駅の活用 人口の増大 中心部の活性化 のんほいロット等
市民と行政が協力してしんしろへの思いを実現するシステム作り

【11班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
住宅・商業が両立できるまち 若者が集まってくるまち 町の中にも緑(公園)があるまち
今のように緑や自然が豊かなまち 歴史を大事にするまち(古宮城) 観光ボランティアの育成
犯罪のない町 災害のない町 交通安全の町
1体の不自由な方やお年寄り、小さな子供たいが安心して暮らせるまち 2市民が(子供から大人まで)まちであったら笑顔で挨拶できるまち 3行政の職員が親切な対応のまち
交通の便利なまち 友人が多くいるまち
市民病院のあるまち 元気な若者のいるまち 青年会議所に所属するメンバーの多いまち
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
自分自身が新城市について勉強する事、それを町づくりに興味のない若者に伝える 消防団・祭礼に参加する。
病気になっても自宅になるべく住んでいられるように、又介護できるように支援すること 他の市民の方の意見や思いを聞けるような会への参加
自由に自分の思いや平和のことが話せる語らいのある街 していることは水彩画、絵本の読み聞かせ やりたいことは、学校に行けない子の力になりたい。
地域活動を大切にしている(祭、消防、子ども会)。
青年会議所活動(まちづくり) 地産地消、地元での買い物 地元の事をよく知ること
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
新城という大きなつながりを個々が痛みを受ける。
①未組織小組織の人々の意見や考え方を吸い上げる「仕組み」を再構築する。 ②交流を盛んにする(地域行事を見直す)。 ③あいさつ運動を起こす。
隣り近所のコミュニケーションがとれた安心して生活できる街を作るため、市民(地域)と行政(限られた財政のため)が共にアイデアを出し作り出していく必要がある。
小さな市でも良いから自分の好きなこと、やりたいことから始める(仲間づくり)。 個人→仲間→地域→市
地域が元気になるため、地域の活動にみんなで参加(お互い顔が分かり話ができる) お祭

【12班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたい”しんしろ”って、どんなまちだろう?
生まれてから亡くなるまで市民をサポート(命のリレー)できるまち 子どもの笑い声が聞こえるまち 核家族でなく、2世代、3世代家族の形成が可能なまち
産婦人科医のいるまち(子どもが産めるまち) 近くに子どもが多くいるまち
①安心・安全な地域・・・農業や商業で自活できるよう。 過疎化・高齢化 ②旧市町村が心を一つにして頑張る街 ③人材の育成
市民病院がしっかりしたまち 何か誇りに思えるようなまち 楽しいまち
住んでいて安心が一番でしょう。 衣食住と昔から云われますがやはりこれに尽きるでしょう。 21世紀になっても！！ それと少しの刺激とね！
元気な若者が多い町
第2話: 住み続けたい”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
豊川の清流と自然を守る(川に子どもを呼びもどす)。
市議会の方たちに良くコミュニケーションをとっていただく。 日本だけでは商が成り立たなければ近場の海外とも取引してみたい。 個々に頑張っている方たちの活動を広く知らしめてみたい。 市民病院の先生方のサポートをしていく。
地域の行事、団体への参加
自治の推進と地区の分権
地域活動(コミュニティ活動) シニヤソフト(地区のチームに参加) 放下保存会の活動
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
若い人が戻ってくる対策 若い人が定住する対策
強い思いのリーダーの出現で行動を起こすことと思います。
地域活動など集会に参加する。 新城から出ていた若い人たちを地元呼び戻せるような制度づくり 新城が一つで盛り上がるようなイベント
地域活動(組、公民館)へのサポート 市政報告の周知徹底 新都市のPR(自然の豊かさ、長篠の戦、食)
交通の確保 若者が帰ってくる町 地域活動への参加

【13班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
水とみどり豊かなまちでは生活ができない為、 <u>生活力(企業)</u> のあるまちになることが必要である
安心して安全に暮らせるようなまち 生活の糧が得られるようなまち
治安、安心 自然が豊か 経済 (雇用) <u>生活圏がコンパクト</u> 人が親切(ゆとり)
地域ex集落がまとまっている。 何でも話が出来、誰でも助け合えること 自分の周りの人々と会ったり、話をする事で楽しくなること 住んでいてストレスが溜まらないところ
施設の方が増加し、大幅に変わりすごしやすいまち
1農工商のバランスのとれた市 2働く企業数が少ない(収入が低い) 3高齢化、人員減は今後かなりのスピードで進む 4地区行政では隣地区の合併が急務
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
<u>企業誘致</u> (税金、働く場所、若返り) 思い切った優遇策
<u>環境整備</u> 、花いっぱい運動緑化運動に参加 <u>地区の役をやれる限り</u> やっている。 <u>安心して住めるように</u>
本読みのボランティア 山間部の交通手段の確保 衣食住の入手の簡単な方法 地産地消か
”新城らしさ”を守っていきたい(3つの個性)。 緑豊かな自然 人情味(あいさつ)
話をしよう。交流しよう。 参加しよう。いつも笑顔でいよう。
<u>良い環境づくり</u> (花いっぱい運動) 地区行事への参加 ボランティア活動への参加
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
鳳来、作手、新城各地域の元気なまちづくりを目指す <u>地域活動(コミュニティ活動)</u>
行政の仕事のタテ割りをやめて必要なことはヨコに連携して進める形をつくる。
<u>効率主義をやめて大事なものは残していく。</u>
市役所の方などまずまわりの方と知り合いになり、その輪が少しずつ広がって欲しい。
皆で手をつないで親切なまちにしよう。 市内の特徴を生かして元気なまち
課題に対して正面から取り組む行政の組織が必要
住民の力を活かす特区!

【14班】

意見など
第1話: ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
<p>若者が戻ってこれるような町 生活しやすいまち 老いても楽しいと思えるようなまち 自分の子どもに住ませたいくなるような町</p>
<p>きれいなまち 便利なまち 治安のよいまち みんなが知り合いのまち</p>
<p>働く場がある(工場でも会社でも農業でも働くことのできる)まち コミュニティが活発なまち</p>
<p>住んでいる地域によってかなり違ってくると思います。 私の地域で考えれば生活に必要な学校・交通・買物等が普通にできる街と思います。 医療サービスの低下も自分の命を守るという点からマイナス要因です。</p>
<p>人情味があるまちではなく人情味が味わえるまち 今でも十分に住み続けたい。</p>
<p>1税金の安い町(固定資産税が高い) 1市民病院の充実した町(救急の場合他の市に頼るようでは安心して暮らせない) 1市街化区域の見直しをして若い人が定住できるような安い宅地の提供、保育園等の定員増 1企業の誘致(農業の方面にも企業を進出させる) 1観光で大勢の人が来てもらえるような官民一体となった施策を実施する</p>
第2話: 住み続けたいくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
<p>子供にプレッシャーをかけている(洗脳)。 季節のものをおいしく食べる。知人に進める。 ⇒自分が楽しむ。</p>
<p>1自然環境を守る。きれいな水にして川に流す。 2健康づくりのために、地区内へウォーキングコース設定</p>
<p>会社の業績を向上させ、従業員を増やす。 若者を青年会議所へ勧誘し「ずっと住み続けたいくなる”しんしろ”」を実現する仲間を増やす。</p>
<p>地域の人たちとのふれあいの場をつくる(教室・習い事)。</p>
<p>新城のイメージアップになるような話をしています(機会あるごとに)。 芸術面で協力をし文化的なまち(住み続けたいくなるまち)にしていきたいと思っています。</p>
<p>1新城の未来を担う子供たちの郷土愛を育むためのお手伝い 2過疎地区の人たちに行政情報(病院、福祉、まちづくり、くらし全般)をお伝えする。</p>
第3話: みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
<p>地域活動(コミュニティ活動)に積極的に参加する。 お隣どうし大きな声であいさつをする(声かけ)。 隣組、区の団結から地域、市域へ広げる。 ボランティアの組織づくりボラ組織があれば入っていく。</p>
<p>行政、議会だけでなく市民自治、市民参加のシステムを作り、共同して作手、鳳来、新城のまちづくりをともに考えて実行していくことが必要 そのためには情報の公開、共有や話合いの場も必要 作手、鳳来、新城地区の相互交流でお互いの状況を知る(ex行事への参加)。 農林水産、再生、地場産業、観光産業の育成など生活基盤の整備を将来のまちづくりを視点に計画し具体化する。</p>
<p>新城の良いところ(自然・文化等)再確認する。 誰もが参加でき楽しめる(子供から老人まで)イベント等を開催し活力ある市づくりを行う。そのためには地区が元気でなければいけないと思う。</p>
<p>次世代を担う子供たちに向けて・・・ 今のしんしろ安全安心なまち、豊かな自然あるれるまち、地域の人とのつながりあるまちを受け継ぎつつ、一人一人が足りないものを追求していくまちづくりに努める。</p>
<p>新城の良いところ(自然・文化等)再確認する。 誰もが参加でき楽しめる(子供から老人まで)イベント等を開催し活力ある市づくりをおこなう。そのためには地区が元気でなければいけないと思う。</p>
<p>しんしろの魅力(新城のよいところ＝場や食・人情etc)を知る 仲間(地域or同趣味oretc.)と楽しく暮らす、伝える</p>
<p>色々なイベントに参加すること 自分で出来ることはたとえば手作り料理とか手作りの服を皆さんと一緒に作って楽しむことなどです</p>

【15班】

意見など
第1話:ずっと住み続けたくなる”しんしろ”って、どんなまちだろう?
いつも市外、県外からの観光客でにぎわっている町(町中をいつでも人が歩いている)
「お互いが助け合う親切」なまち 地域で声かけ合い”ありがさま””どういたしまして”が聞こえてくるような 人情味あふれる困った人がいれば助け合えるような あいさつ先手→都会と違う。
安心(治安 犯罪の少ない町、医療 安心して病院かかれる) 便利(仕事 近距離で通勤できる職場、生活 買物等身近でできる)
健康的なまち(みんなで元気で明るく生活) 安心して住めるまち
緑、自然が豊かでこれからの高齢化にともない病院や交通の面はしっかりしていて子供 たちにとってもお年寄りにとっても安心して安全な町であるといいと思います。
どなたにも気軽に声をかけてお寄りくださいと言えるまちはどうでしょうか
第2話:住み続けたくなる”しんしろ”のために、私たちができることはなんだろう?
新城や奥三河の情報発信 (フリーペーパー、ホームページ(ブログ))
何とか豊川の清流を回復し次世代に残したい。 新城の町づくりに協力したい。まずは市民病院再生と市民自治の確立に努めたい。 作手、鳳来、新城は豊かな資源(歴史、文化、自然、人など)を生かせないかと考えてい る。
地域のコミュニティー活動の推進 引き継いだ家業(農林業)をしっかり守る(自立自活)。
していること (地域の交流を意識している) やりたいこと 畑、たんぼ
区の行事、公民館行事etcへの積極的参加 昼食会(定期的)の企画実施 畑仕事のサポート 市行政の地区への連絡
今週、近くの人達(3~4名)をホテル見学に連れていっている。 青少年の育成を兼ね少年サッカーを指導している (4年前から)四谷の千枚田で(生まれて初めて)農業をしている。
第3話:みんなの”しんしろ”への思いや力を活かすために必要なことはなんだろう?
安心安全な町(交通、病院等) 若い人の力 環境が良い町
他人を否定しない。
地域に関心を持つこと 行政とのコミュニケーションをする。
<u>人とのつながりをもつ</u> 自分ができることは何かを考え行動をおこす。
しんしろが「好き」と言えることをつくる。 交通の便(バス)をどうにかしてほしい。 →病院、学校通い。
1年にもう1度開いて 市民大会をひらこう
新城 愛